

溶かして流し込む！？ もうひとつの制作技法！

金属で仏像を作ってみよう



銅造十一面観音立像
長谷寺所蔵 重要文化財



完成した仏像は
スタンドに立てて
お持ち帰りいただきます！

古くから仏像は、木材だけでなく、金属でも作られてきました。金属製の仏像は多くの場合、溶けた金属を型に流し込む^{ちゅうそう ぎほう}鑄造技法を用いて作られます。このワークショップでは、鎌倉時代に制作された^{は せ でら どうそう じゅういめん}長谷寺の銅造十一面^{かんのん りゅうそう}観音立像をモデルに、その^{ちようじよう ぶつめん}頂上仏面を鑄造します。また、文化村学芸員によるミニ講座も行います。鑄造体験と講座をとおして、仏像の制作技法を学んでみませんか？

無料

2026 年

2/21 (土)

14:00 ~ 15:30 (講座込)

- 会 場：なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟 3 階 セミナールーム A・B
- 定 員：12 名 (抽選)
- 対 象：小学生以上 ※小学生は保護者の方の同伴が必要です。
- 講 師：山田修さん (奈良県立大学)
- 申込期間：1 月 13 日 (火) 10:00 ~ 2 月 3 日 (火) 17:00
- 主 催：なら歴史芸術文化村 協 力：奈良県立大学 地域創造研究センター

参加申し込みは、なら歴史芸術文化村 HP をご覧ください。

詳細はこちら→

